

平成27年度 河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野(河川) 新規課題 研究開発テーマ

テーマおよび概要		研究代表者名
テーマ	河川水位変動に伴う漏水面の特性変化が地下水涵養量および河川流量へ及ぼす影響の評価	岐阜大学 大橋慶介
概要	河川水位変動と地下水涵養量の応答について漏水面の性状と交換量に着目し、観測とそれに基づく地下水涵養モデルを構築する。	
テーマ	四万十川における治水とスジアオノリの生育環境創出を両立させる河道管理技術の構築	高知工業 高等専門学校 岡田将治
概要	四万十川下流域における治水とスジアオノリをはじめとする生態環境の保全・創出の両立を目的とした河道改修および維持管理技術を構築する。	
テーマ	UAVと水域可視化処理による河川地形の新しい計測手法の開発	岐阜大学 沢田和秀
概要	電動小型無人飛行機を用いた写真撮影により、水面下や樹林下等の地形を把握できる、河川管理に資する付加価値の高い調査手法を開発する。	
テーマ	堤防の三次元構造と降雨・水位の浸潤履歴が及ぼす堤体の不安定化に関する研究	中部大学 杉井俊夫
概要	堤防の三次元構造の把握と物性値の評価を行い、降雨及び水位履歴が及ぼす堤体の不安定性について検討を行う。	
テーマ	宮崎県中部河川とそれに面する海岸における土砂の鉱物学的類似性の比較	宮崎大学 鈴木祥広
概要	宮崎県中部を調査対象とし、河川と海岸の土砂の鉱物学的類似性を総合的に解析することによって、流域の土砂動態の実態を解明する。	
テーマ	利根川八斗島観測所近傍における計測技術と数値解析の融合による土砂動態の把握	東京大学 知花武佳
概要	八斗島で生じた大規模土砂堆積の原因を、最新の流速計測技術、数値解析、河床構造調査から解明し、対策を提案する。	
テーマ	携帯型蛍光X線分析を利用したマクロ的な流域土砂動態に関する研究	富山県立大学 手計太一
概要	携帯型蛍光X線分析を用いた新しい流域土砂管理手法の提案を目的に、元素分析による土砂礫の質を評価することによって、新たな流域土砂分布の特徴化や指標化を研究する。	
テーマ	湿原の効果および融雪期の特徴を再現できる洪水予測モデルの開発	北見工業大学 中山恵介
概要	寒冷地域に特有の融雪洪水を対象とした、湿原域での氾濫による洪水ピークの到達時間の遅れを考慮出来るモデルを開発する。	
テーマ	生物多様性の相補性に基づく堤内地氾濫原水域の保全・再生優先度評価手法の開発	北海道大学 根岸淳二郎
概要	石狩川氾濫原水域の生態系機能と治水機能を包括的に満たす管理優先度の評価手法の開発を行う。	
テーマ	局地的豪雨の時空間分布を考慮した洪水氾濫のリスク評価	北海道大学 山田朋人
概要	研究代表者らが開発した確率微分方程式を導入した降雨流出モデルを入力情報とする確率情報付きの洪水氾濫のリスク評価を実施する。	

(五十音順, 敬称略)